

松本歯科大学歯科矯正学講座では、以下の研究を実施しています。この研究について詳細に知りたい方は、「問い合わせ先」までお問い合わせください。

また、この研究の研究対象者に該当すると思われる方で、ご自身の試料・情報を「この研究課題に利用してほしくない」と思われた方は、試料・情報の使用を拒否することができますので、「試料等の研究への利用に関する不同意書」をご提出ください。

研究の名称	片側性唇顎口蓋裂患者における矯正治療前後の正面顎顔面形態の変化の検討
研究責任者	歯科矯正学講座 山田 一尋
研究期間	2017年8月1日～2022年3月31日
研究の目的・概要	口蓋裂患者の多くは、成長発育とともに障害の程度が顕著化することがあります。このことは、矯正治療が咬合改善にとどまらず、咬合機能とともに顎顔面の成長発育を十分配慮した総合的な顎顔面形態の診断と治療を必要とします。そこで、片側性唇顎口蓋裂患者における矯正治療前後の正面顎顔面形態と咬合の変化を検討し、矯正治療の有用性を示します。
利用又は他機関に提供する情報	1972年4月以降に松本歯科大学病院育成期口腔診療部門(旧矯正歯科)においてⅠ期治療およびⅡ期治療を受けられた方の以下の試料・情報を利用します。 試料：正面および側面頭部エックス線規格写真 情報：性別、生年月日、咬合状態等
試料・情報の利用目的及び利用方法(他の機関へ提供する場合はその方法を含む)	一期治療及び二期治療でマルチブラケット装置による動的矯正治療を終了した片側性唇顎口蓋裂患者の顔面骨格形態の変化を調べるために、初診時と二期治療終了時の側面および正面頭部エックス線規格写真を用いて上下顎骨の前後的、水平的位置、下顎骨の偏位について計測し、統計的処理を行って解析します。
試料・情報を利用する者の範囲	・歯科矯正学講座 村岡 理奈 ・歯科矯正学講座 的場 景子 ・歯科矯正学講座 村上 剛一
問い合わせ先	松本歯科大学歯科矯正学講座 山田 一尋 電話：0263-51-2086